

【第42回住まいのリフォームコンクール】 国土交通大臣賞などの受賞決まる

住まいのリフォームコンクールは「公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター」の主催により、住宅リフォームの普及促進とリフォームの水準向上を図ることを目的として、全国各地で施工された住宅リフォーム事例を募り、優秀な事例について表彰し、これを消費者や事業者にも広く紹介するもので、1985年度より毎年実施しています。今回より、審査基準を改定、また、ナレッジ賞を新設しています。

6月23日の応募締切までに、296件の応募が寄せられました。「住まいのリフォームコンクール審査委員会」(委員長:松村秀一 神戸芸術工科大学 学長)による審査の結果、下記の上位賞7作品、ナレッジ賞3作品を含む入賞32作品を選定しました。(別紙1:審査結果の総評、別紙2:上位賞7作品、ナレッジ賞、個人表彰)

表彰は、10月6日(月)に当財団主催による表彰式、また、10月11日(土)に行われる住生活月間中央イベント合同記念式典(THE SAIHOKUKAN HOTEL(長野ホテル犀北館)/長野県長野市)において国土交通大臣賞の授与が執り行われます。

取材のご希望がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

■上位賞作品■

賞名	タイトル及び設計者・施工者	所在地	所有・建方形式 /構造
国土交通大臣賞	漆の里焼きサワラの家 設計:川島宏一郎建築設計事務所 施工:(有)マツモトコンストラクションサービス	長野県 塩尻市	持家一戸建 /在来木造
(独)住宅金融支援機構 理事長賞	新旧混成-旧耐震建物の再生モデル(タウンヴィラ摂津)- 設計:(株)今野広大再生建築設計 施工:(株)ニーズワン	東京都 新宿区	賃貸共同建/鉄骨 鉄筋コンクリート造
(公財)住宅リフォーム・紛争 処理支援センター理事長賞	ヨコとタテにつながる長屋~都市に住む~ 設計:連・建築舎 施工:春 建築工房	大阪府 大阪市	持家連続建 /在来木造
(一社)住宅リフォーム推進 協議会会長賞	大きなクローゼットと小さな居場所が繋がる家 設計:Matter + form ARCHITECTS 施工:(株)ハレリノベ工務店	神奈川県 川崎市	賃貸共同建 /鉄筋コンクリート造
(一社)住宅瑕疵担保責任 保険協会会長賞	築69年の平屋を住み継ぐ、繋ぐ。上峰町ノ家 設計:(株)新成工務店一級建築士事務所 施工:(株)新成工務店	佐賀県 三養基郡 上峰町	持家一戸建 /在来木造
審査委員特別賞	小さく豊かに <実家リノベーション> 設計・施工:(株)三友工務店	熊本県 熊本市	持家一戸建 /在来木造
審査委員特別賞	風景と住まう家 設計:axonometric(株) 施工:株入門硝子(有)	福岡県 北九州市	持家共同建 /鉄筋コンクリート造

■ナレッジ賞作品■

賞名	タイトル及び設計者・施工者	所在地	所有・建方形式 /構造
ナレッジ賞	家族が集う ヌックの魔法 設計・施工:(株)OKUTA	千葉県 佐倉市	持家共同建 /鉄筋コンクリート造
ナレッジ賞	『厳しい』制限への『緩やか』なこたえ 設計・施工:(株)土屋ホームピア	北海道 北広島市	持家一戸建 /軽量鉄骨造
ナレッジ賞	省スペースでの車いす生活 設計・施工:パナソニックエイジフリー(株)	東京都 立川市	持家一戸建 /在来木造

入賞作品は、10月11日(土)・12日(日)に、住生活月間中央イベント展示会場(長野県長野市)においてパネル展示される他、全国で開催される住宅関連のフェアやセミナー等においても展示が行われる予定です。財団ホームページにおいても掲載されます。

<問い合わせ先>

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター リフォーム情報部業務課 野村、深谷
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル3階
TEL: 03-3556-5144 E-MAIL: reform@chord.or.jp
ホームページ: https://www.chord.or.jp/chord_official/

■上位賞作品■

通番	賞	タイトル	設計者	施工者	所在地	所有・建方形式	構造	エントリ番号
1	国土交通大臣賞	漆の里焼きサワラの家	川島宏一郎建築設計事務所	(有)マツモトコンストラクションサービス	長野県塩尻市	持家一戸建	在来木造	107
2	独立行政法人住宅金融支援機構理事賞	新旧混成-旧耐震建物の再生モデル(タウンヴィラ摂津)	(株)今野広大再生建築設計	(株)ニーズワン	東京都新宿区	賃貸共同建	鉄骨鉄筋コンクリート造	214
3	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞	ヨコとタテにつながる長屋～都市に住む～	連・建築舎	春 建築工房	大阪府大阪市	持家連続建	在来木造	42
4	一般社団法人住宅リフォーム推進協議会会長賞	大きなクローゼットと小さな居場所が繋がる家	Matter + form ARCHITECTS	(株)ハレリノベ工務店	神奈川県川崎市	持家共同建	鉄筋コンクリート造	83
5	一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞	築69年の平屋を住み継ぐ、繋ぐ。上峰町ノ家	(株)新成工務店一級建築士事務所	(株)新成工務店	佐賀県三養基郡上峰町	持家一戸建	在来木造	7
6	審査委員特別賞	小さく豊かに <実家リノベーション>	(株)三友工務店	(株)三友工務店	熊本県熊本市	持家一戸建	在来木造	183
7	審査委員特別賞	風景と住う家	axonometric(株)	入門硝子(有)	福岡県北九州市	持家共同建	鉄筋コンクリート造	244

■ナレッジ賞作品■

通番	賞	タイトル	設計者	施工者	所在地	所有・建方形式	構造	エントリ番号
8	ナレッジ賞	家族が集う スノックの魔法	(株)OKUTA	(株)OKUTA	千葉県佐倉市	持家共同建	鉄筋コンクリート造	77
9	ナレッジ賞	『厳しい』制限への『緩やか』なこたえ	(株)土屋ホームトピア	(株)土屋ホームトピア	北海道北広島市	持家一戸建	軽量鉄骨造	139
10	ナレッジ賞	省スペースでの車いす生活	バナソニックエイジフリー(株)	バナソニックエイジフリー(株)	東京都立川市	持家一戸建	在来木造	319

■優秀賞作品■

通番	賞	タイトル	設計者	施工者	所在地	所有・建方形式	構造	エントリ番号
11	優秀賞	『公園前のハウスコーティ』笑顔の再生	atelier Mon Deco	(株)ぼん	福井県福井市	持家一戸建	在来木造	97
12	優秀賞	最小限の介入で魅力を最大化する 池田の洋館付住宅	(株)アートアンドクラフト	(株)アートアンドクラフト	大阪府池田市	持家一戸建	伝統構法	35
13	優秀賞	ヘリテージマンションを住み継ぐ 一自然との共生	S	(株)NENGO	神奈川県横浜市	持家共同建	鉄筋コンクリート造	197
14	優秀賞	子育て期に寄り添いしなやかに変化～築56年マンションを整える～	(株)OKUTA	(株)OKUTA	東京都渋谷区	持家共同建	鉄筋コンクリート造	148
15	優秀賞	小田原地区木村業協同組合・神奈川県住宅供給公社による二宮団地再編事業	神奈川県住宅供給公社	小田原地区木村業協同組合	神奈川県中郡二宮町	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造	232
16	優秀賞	自分らしく生きるウェルビーイングな住まいへ～近居で支え合う継承への決断～	喜多ハウジング(株)	喜多ハウジング(株)	石川県白山市	持家一戸建	在来木造	298
17	優秀賞	命を守るだけの改修	コープ住宅(株)	コープ住宅(株)	兵庫県西宮市	持家一戸建	在来木造	100
18	優秀賞	商店街の息吹をつなげる空き家リノベーション	(株)サンプロ	(株)サンプロ	長野県佐久市	持家一戸建	在来木造	114
19	優秀賞	“家”・“キャンプ”	住友林業ホームテック(株)	住友林業ホームテック(株)	栃木県下都賀郡壬生町	持家一戸建	在来木造	81
20	優秀賞	WOODSTOCK HOUSE-すぎんち-	(株)TATTA	(有)アビリティホーム	東京都八王子市	持家一戸建	在来木造	31
21	優秀賞	近江路の家	(同)多和良屋	(株)サクジ工務店	滋賀県草津市	持家一戸建	在来木造	316
22	優秀賞	理恵庵-リノベスクールによる地域密着・実践型の古民家再生-	筑波大学加藤研究室・筑波大学山本幸子研究室・里山建築研究所	筑波大学加藤研究室・筑波大学山本幸子研究室・里山建築研究所	茨城県かすみがうら市	持家一戸建	在来木造	64
23	優秀賞	木軸フレームによるマンションリノベーション-日本の風土文化に根差した空間-	tnd設計室	(有)平建設	千葉県松戸市	持家共同建	鉄骨鉄筋コンクリート造	174
24	優秀賞	断熱リノベーションで叶えた快適な暮らし	(株)ハウジングネットワーク	(株)ハウジングネットワーク	広島県広島市	持家一戸建	在来木造	164
25	優秀賞	音楽と暮らす	晶中 秀幸	(株)アルティザン建築工房	北海道札幌市	持家一戸建	在来木造	261
26	優秀賞	小屋を被るビル	PERSIMMON HILLS architects	(株)NENGO	東京都品川区	持家共同建	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	256
27	優秀賞	家のなかの、小さな外と大きな自由	(株)フォーアイズ	ヤシマ工業(株)	東京都杉並区	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造	237
28	優秀賞	“誰かと暮らす”という選択	(株)フォーアイズ・ヤシマ工業(株)	ヤシマ工業(株)	東京都杉並区	賃貸共同建	鉄筋コンクリート造	241
29	優秀賞	はちふく文化GAMO-4文化住宅再生(文化的な暮らしとは)	(株)福永工務店一級建築士事務所	(株)福永工務店一級建築士事務所	大阪府大阪市	持家共同建	在来木造	157
30	優秀賞	白山道の庫裏	藤原酒谷設計事務所	(株)NENGO	神奈川県横浜市	持家一戸建	在来木造	242
31	優秀賞	土間続きの家	別所 匠	(株)ビルドアート	神奈川県横浜市	持家共同建	鉄筋コンクリート造	169
32	優秀賞	山形から発信する 減築リノベ	(株)結設計工房	(株)結設計工房	山形県寒河江市	持家一戸建	在来木造	280

■個人表彰■

賞	タイトル	賞名	会社名	氏名	エントリ番号
個人表彰	漆の里焼きサワラの家	<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員	(有)マツモトコンストラクションサービス	上條 計	107
個人表彰	WOODSTOCK HOUSE-すぎんち-	<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員	(有)アビリティホーム	宮前 孝仁	31
個人表彰	はちふく文化GAMO-4文化住宅再生(文化的な暮らしとは)	<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員 マンションリフォームマネジャー	(株)福永工務店一級建築士事務所	福永 信二郎	157
個人表彰	音楽と暮らす	<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員	(株)アルティザン建築工房	長崎 賢司	261
個人表彰	『厳しい』制限への『緩やか』なこたえ	マンションリフォームマネジャー	(株)土屋ホームトピア	田代 大祐	139

※ 建築主(施主)の氏名については、公表しておりません。
 ※ 優秀賞・ナレッジ賞は、設計者の五十音順です。

■ 総 評

建物の健康寿命を伸ばすリフォームへ

住まいのリフォームコンクール審査委員会 委員長 松村 秀一

2024年、日本人の平均寿命は、男性が81.09歳、女性が87.13歳だったそうです。大正時代まではこれが50歳に満たなかったというのですから、欲を言えばきりがありませんが、この100年の間に「長生き」という目標はかなりの程度達成されたと言えるのではないのでしょうか。ところが、寿命が伸びてみると、老いに伴う人生の困難が色々出てきているようにも思われます。そこで今度は、介護等を必要とせず自立して生きていける状態を何歳まで保てるのか、つまり「健康寿命」というものが重要だということになってきました。2022年のデータですが、日本人の健康寿命は男性が72.57歳、女性が75.45歳ということになっています。平均寿命と健康寿命の差は男女ともおおむね10年程度。その年月は自立して生きていけないということになります。平均寿命を短くすることなく、健康寿命とのこの差をいかに短い年数にできるのか、それが多くの人の関心事です。

さて、長々と日本の住宅の話ではなく日本人の話をしましたが、それは、住宅も同じだと思っ

ているからです。建ててから取り壊すまでの年数を建物の寿命というならば、日本の住宅の寿命は明らかに長くなっています。日本の住宅の寿命が30年足らずと言っていたのがまるでウソのような状況です。30年どころではなく、50年或いは100年経っても取り壊されず、そのまま空き家になっている建物が日本中にゴロゴロしている時代です。こうなってくると、人間と同じく健康寿命の方が大事になってきます。それをいかに伸ばせるか、そこに人知を集中させるべき時代になってきているのです。

今年度の上位賞を受賞された7つのリフォーム事例、それぞれの建物が何歳になった時にそのリフォーム工事をしたのかを長いものから並べてみますと、94歳、70歳、69歳、52歳、51歳、48歳、39歳ということになります。建ててからの年数が相当長いものが多いと感じられるのではないのでしょうか。恐らく20年も前ならば、こんな年数の分布になるとは想像もつかなかったことでしょう。日本の建物の寿命が伸びていることの証です。そして、それぞれのリフォーム工事の設計者や施工者が施主や住み手と一緒に知恵を絞り、実行したのは、それらの建物の健康寿命を伸ばすことに他ならなかったのです。私たち審査委員会は、これならここから先長く健康を保てるだろうと評価したのだと言って良いでしょう。

建物の取り壊しが必要なかったり、難しかったりする今日の状況下での一番の課題は建物の寿命ではなく、建物の健康寿命を伸ばすことです。そして、リフォームこそ、この課題に正面から答える最も重要な建築行為なのです。

是非、皆さんと一緒にこの重要な行為、リフォームを盛り上げてまいりたいと思います。来年度もたくさんのご応募、楽しみに致しております。

国土交通大臣賞 受賞作品

漆の里焼きサワラの家 | 長野県塩尻市

設計: 川島宏一郎建築設計事務所

施工: (有)マツモトコンストラクションサービス



中山道木曾平沢の街並み

Before



中山道沿いの再生前ファサード



裏の崩れた塗蔵等を4棟壊された庭(再生前)

木曾平沢は重要伝統的建造物群保存地区に選定されながらも、観光客も少なく空き家も増加している。ここに、近年増えている中山道のインバウンド客を含む新たな人々に来てもらい、伝統的な漆器の産地としての魅力を感じてもらえる町として再生するというのが、応募者の強い思いである。今回のリフォームは、この思いを実現していく上での第一段階という位置付けである。

設計姿勢の大元には、応募者が大事にしている「もったいない精神」があり、古い建物を残すこともこの精神に基づく行為であるし、断熱材や設備などにも極力リサイクルの材料を使用している。

耐震性向上、断熱性向上、植栽による日射遮蔽、太陽光熱と太陽光自体の利用の他に、ゼロカーボン化に向けても積極的に取り組んでいる。さらに地元の大工専門学校生の育成の場としても活用。再生後の建物は、街並みの景観向上にも大いに貢献している点を評価された。

After

文化と伝統の再生

未来への再生



周囲の景観に溶け込む防火対策の格子のあるファサード



さわらを焼いた炭で着色した離れとやきさわらの主屋



床下浸水後重伝建(漆の街)の文化と伝統の再生



伝統を守る漆の和室(特定建物)



家族をつなぐ、感じられる、また空気を循環する吹き抜け



やきさわらと和紙の吹き抜け空間

第4 2回住まいのリフォームコンクール

■国土交通大臣賞 講評

作品名「漆の里焼きサワラの家」

設計者であり施主であり住み手でもある応募者が、10年前に漆器作りを見学した際、中山道沿いのこの地、木曾平沢の街並みに心惹かれ移住を考えたが、その時は一旦断念した。その後、2019年の台風19号の水害で取り壊されていく伝統木造建築の状況に危機感を覚え、相当な被害を受けていた空き家に関して旧知の大工と相談し、再生の目処が立ったので購入を決断した。それが今回の対象建物である。

木曾平沢は重要伝統的建造物群保存地区に選定されながらも、観光客も少なく空き家も増加している。ここに、近年増えている中山道のインバウンド客を含む新たな人々に来てもらい、伝統的な漆器の産地としての魅力を感じてもらえる町として再生するというのが、応募者の強い思いである。今回のリフォームは、この思いを実現していく上での第一段階という位置付けである。

まず、街並みと直接関係する街道側の外観についてだが、ヘリテージマネージャーでもある応募者は、この地区特有の「雁行」を大事にし、これもこの地区特有の「出し梁造り」を活かして、従前よりも一層街並みに貢献できる外観を実現している。地場産材であるサワラを活用した下見板の採用、延焼を抑え20分間サッシが焼け落ちないようにするための格子の設置等も、重要伝統的建造物群保存地区としての景観に十分配慮したものになっている。一步内部に入っても、既存の木製建具、漆塗りの和室など、新旧が調和した空間になっていて好ましい。

こうした設計姿勢の大元には、応募者が大事にしている「もったいない精神」があり、古い建物を残すこともこの精神に基づく行為であるし、断熱材や設備などにも極力リサイクルの材料を使用している。先程触れた下見板も、製材所で放置されていたサワラの板を、「もったいない」という思いから、焼いて再生したものである。

性能面でもしっかりした向上策が施されている。耐震性向上、断熱性向上、植栽による日射遮蔽、太陽光熱と太陽光自体の利用の他に、古い蔵が壊された後にできた庭にビオトープを造成し、大雨に備える池を創出し、また水路の水を室内の冷房に活かすなど、ゼロカーボン化に向けても積極的に取り組んでいる。

もう一つの大きな特徴は、応募者が専門学校の教員として大工育成に関わっており、ベテラン大工を指導者として、今回のリフォーム工場の現場を学生たちの実践教育の場としても活かした点である。また、リフォーム工事完成後には、空き家再生・活用の重要性を広める場として、地域の建築士事務所協会の講習会の場として提供している。

リフォーム工事完成後の建物は、自宅及び事務所として使っているが、いずれは1棟貸し形式の宿にする計画で、設計内容にもそのことは織り込み済みである。今後は他の空き家も買い取り、同様にリフォームすることで、今この地区にないレストランを誘致する計画もあるという。応募者の構想は今回の応募作品1軒にとどまらない。

以上より、本作品は国土交通大臣賞に相応しいものと評価できる。

独立行政法人 住宅金融支援機構理事長賞

新旧混成-旧耐震建物の再生モデル(タウンヴィラ摂津)- | 東京都新宿区

設計:(株)今野広大再生建築設計

施工:(株)ニーズワン

築50年を超える旧耐震の賃貸マンションについて、居住させながらの耐震改修リフォームにより建築物を再生した作品。

既存建築物を再生することで後生に建築物を受け継ぎ、社会的にも問題になっているマンションの老いに対する再生方法の一つの考え方として、社会的な貢献も高い作品として評価された。



撮影:上田宏

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞

ヨコとタテにつながる長屋～都市に住む～ | 大阪府大阪市

設計:連・建築舎

施工:春 建築工房

この地域で長屋の改修に取り組んできた設計者の自邸として、5軒長屋の一戸を改修した作品。築95年の2階建長屋で、当時の町並みルールを継承しながら計画が進められた。

設計者として居住者DIYを推奨・実施しており、本作品はモデルハウスとして長屋改修の魅力と可能性を伝える役割も担っている。住宅ストックの活用の幅を広げる観点から優れた取組みであると評価された。



一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会会長賞

大きなクローゼットと小さな居場所が繋がる | 神奈川県川崎市

設計:Matter + form ARCHITECTS

施工:(株)ハレリノベ工務店

地と図が入れ替わったようなプランで、通常なら隅に追いやられる収納スペースが、まるで主役の様に中央に置かれた住まい。

移動空間に機能を与え、結果的に暮らしを整える空間になりうることを示した意欲作と言える。モノに溢れた暮らしを逆手に取ったこの考えは、新たなマンションプランの発明とも言える作品として評価された。



撮影:Tomohiro Sugiura

一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞

築69年の平屋を住み継ぐ、繋ぐ。上峰町ノ家 | 佐賀県三養基郡上峰町

設計:(株)新成工務店一級建築士事務所

施工:(株)新成工務店

築69年の木造平屋建て。若い子育て世帯が妻の実家のある佐賀県上峰町で住まい探しをしていたところ、「リフォームします。お楽しみに！」ののぼり旗を見つけた。それは地元の工務店が10年来の空き家を取得し、リフォームのモデルルームとしてこれから整備しようとしていたものだった。施主と工務店のタッグによる空き家のリフォームにより、新しい暮らしを地域に生み出した作品として評価された。



審査委員特別賞

小さく豊かに <実家リノベーション> | 熊本県熊本市

設計・施工:(株)三友工務店

高齢になった両親と同居するための実家の戸建て木造住宅のリフォーム。介護メインの住まいでなく、お互いの生活スタイルを保ちながら趣味を楽しみ、友人も気軽に呼べる家になりたいと考えた。将来維持管理していける規模のまま、生まれ育った住まいを質の高いストックへと再生させた作品として評価された。



風景と住まう家 | 福岡県北九州市

設計:axonometric(株)

施工:入門硝子(有)

築39年のUR分譲集合住宅の一室を買取り、再販用にリフォームした作品。設計者と描いたイメージは水盤のある庭のような家でありシンプルな一室空間が生まれた。

設備保証延長や床下給排水部分へのアフター保証、独自の買取保証もあり既存住宅購入の不安払拭や流通促進策も講じている。多様な住まい方を誘発するチャレンジ的リフォーム事例として評価された。



ナレッジ賞

ナレッジ賞は、第42回のコンクールにおいて、新しく設けられた賞です。
大きな規模、金額ではなくても、キラリと光るリフォーム3作品が選ばれました。

家族が集う ヌックの魔法 | 千葉県佐倉市

設計・施工：(株)OKUTA

LDKの一角に誕生したのは、0.8畳のヌック。下は犬の居場所、その上は家族が一人籠れる場所。光や風・視線を通す優しい表情の窓が設けられたヌックは、優しく心を解放してくれる基地のようだ。ヌックの出現で、LDKが優しい元気をくれる空間になった。



『厳しい』制限への『緩やか』なこたえ | 北海道北広島市

設計・施工：(株)土屋ホームトピア

三世代での同居のために、階段を安全にしたいとの要望に応えたりフォーム。型式認定住宅のため、構造に絡まない上貼り手法で踏み面寸法を広げ、勾配を緩やかにした。トイレの向きを替え一段分のスペースを確保した結果、トイレも広く、引き戸になり全て良し。



省スペースでの車いす生活 | 東京都立川市

設計・施工：パナソニックエイジフリー(株)

車椅子生活の不便さは健常者ではなかなか窺い知れないものがあるが、面積が限られる住宅内ではなおさら深刻である。さまざまなモノの高さに加え洗面台下の足置き用掘り込みなどの工夫は、丁寧なヒアリングとアイデアの賜物で、ナレッジ賞に相応しい。



個人表彰

入賞者で、「<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員」または「マンションリフォームマネジャー」の資格をお持ちの方を表彰します。

▷住宅リフォームエキスパート 増改築相談員
住宅の新築工事又はリフォーム工事に関する実務経験5年以上を有し、当財団が企画した住宅リフォーム工事に関する専門知識を修得するための研修を受講し、考査に合格した者。

▷マンションリフォームマネジャー
当財団が実施する学科試験および設計製図試験に合格した方で、マンションリフォームにおいて必要な知識と能力を有した者。

<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員

漆の里焼きサワラの家

(有)マツモトコンストラクションサービス
上條 計 氏



<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員

WOODSTOCK HOUSE-すぎんち-

(有)アビリティーホーム
宮前 孝仁 氏



<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員・マンションリフォームマネジャー

はちふく文化GAMO-4 文化住宅再生(文化的な暮らしとは)

(株)福永工務店一級建築士事務所
福永 信二郎 氏



<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員

音楽と暮らす

(株)アルティザン建築工房
長崎 賢司 氏



マンションリフォームマネジャー

『厳しい』制限への『緩やか』なこたえ

(株)土屋ホームトピア
田代 大祐 氏



第42回住まいのリフォームコンクールの概要

1. 主催 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター
2. 後援 国土交通省／独立行政法人 住宅金融支援機構／
独立行政法人 都市再生機構／一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会／
一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会
3. 協賛 公益財団法人 建築技術教育普及センター 他25団体
4. 目的 全国各地で施工された住宅リフォームの事例を募り、優秀な事例についてリフォームの依頼主(施主)・設計者・施工者を表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介することにより、住宅リフォームの促進とその水準の向上を図る。
5. 応募者要件及び対象
応募者は、応募作品のリフォームの依頼主(施主)、設計者、施工者を原則とし、2023年7月から2025年6月までの間に、リフォーム工事が完了した住宅(国内にあるもの)を対象とする。
6. 応募締切 2025年6月23日
7. 応募件数 296件
8. 入賞件数 上位賞 7点

{	国土交通大臣賞1点／(独)住宅金融支援機構理事長賞1点／ (公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞1点／ (一社)住宅リフォーム推進協議会会長賞1点／ (一社)住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞1点／審査委員特別賞2点	}
---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

ナレッジ賞 [新設]	3点
優秀賞	22点
	合計 32点
9. 審査委員 委員長 神戸芸術工科大学 学長 他10名(参考資料－2参照)
10. 表彰式・特別講演会・受賞作品講評会 令和7年10月6日(月) 13:30～

審査委員会委員名簿

委員長	松村 秀一	神戸芸術工科大学 学長
委員	相原 康生	独立行政法人住宅金融支援機構 技術総合サポート部 技術総合サポート部長
〃	池本 洋一	株式会社リクルート SUUMO編集長
〃	柿本 章子	主婦連合会 副会長
〃	鈴木 ひとみ	建築設計工房パッソアパッソ 代表
〃	中西 ヒロツグ	イン・ハウス建築計画 代表
〃	中野 淳太	法政大学 デザイン工学部建築学科 教授
〃	前田 亮	国土交通省 住宅局 住宅生産課 課長
〃	丸茂 みゆき	文化学園大学 造形学部建築・インテリア学科 教授
〃	森田 芳朗	東京工芸大学 工学部工学科 教授
〃	鈴木 徹	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター 専務理事

(敬称略、所属・役職は令和7年10月時点)